

編集後記

多くの方々に支えられながら、横浜国立大学教育相談・支援総合センターの研究論集第21号の発刊となりました。関係各位の皆様には厚く御礼申し上げます。

本号では、昨年度オンラインで開催された日本心理臨床学会第39回大会において、イエール大学のRosemary H. Balsam先生をお招きして行われた実行委員会企画特別招待講演を、「特集」として寄稿いただきました。昨年度大会は、本学が開催校として様々な企画の準備を進めていた中、COVID-19の感染拡大により、これまでに例のない形での開催となりました。多くの制限がある中、オンデマンドによるご講演を行っていただいたこと、また、貴重なご講演をこうして形にして残してくださったことに、Balsam先生をはじめ、関係の先生方に深く感謝しております。編集委員長として、この場を借りて心より御礼申し上げます。

コロナ禍が長引く中で、心の専門家に求められる役割は、より大きく、多様になっています。本センターにおいても、これまで行ってきた相談活動や実践的研究の場としての役割を継続するだけでなく、今どのような支援や機能が求められているのかを模索し続ける姿勢が重要だと感じております。

今後も、教育相談・支援総合センターにおける相談・支援活動はもとより、臨床心理学的な諸研究のより一層の充実のために、さらに誠実に注力していく所存です。

どうぞご一読いただき、ご忌憚のない意見、ご感想を頂戴できれば幸いに存じます。

(編集委員長 杉山明子)

本研究論集には、心理臨床および教育臨床の事例研究が記載されていますので、プライバシー保護のため、保管および取扱に十分ご配慮いただきたくお願いいたします。